あきた国際フェスティバル2025
事業報告書

1. 事業概要

（1）開催日時　2025年10月5日（日）10：00～16：00

（2）場　　所　秋田拠点センターアルヴェ１階「きらめき広場」（秋田市東通仲町４－１）

（3）主　　催　公益財団法人秋田県国際交流協会

（4）共　　催　独立行政法人国際協力機構東北センター

（5）目　　的　県内の在住外国人による母国紹介や国際交流団体の活動紹介等を通じて、多くの県民と在住外国人が互いの文化に触れ、多文化共生・国際交流・国際協力等への理解を深める。

2. 県民参加の促進

■参加者数　1,401人

（来場者 1,214人：ブース・パフォーマンス関係者164人：スタッフ・ボランティア23人）

少しでも多くの県民の目に留まり気軽に参加してもらえるよう、交通アクセスが良く開放的な秋田拠点センター「アルヴェ」きらめき広場を会場に開催した。キッチンカー５店舗の出店やバルーンアート、小学生向けワークショップ等の企画の充実に加え、広報の強化を図ったことにより、県内各地から幅広い年齢層の県民が来場した。ワールドブースやステージパフォーマンス等を通じて外国人県民と来場者が触れ合い、お互いへの理解と関心を深める機会となった。

3. ワールドブース

外国人県民による母国の文化紹介や国際交流団体による活動紹介が行われたワールドブースでは、クイズに答えて集めたスタンプの数に応じて外国のお菓子やバルーンアートが貰える「クイズラリー」が実施され、多くの来場者が20か国、31団体・個人に及ぶ様々な出展者との交流を楽しんだ。

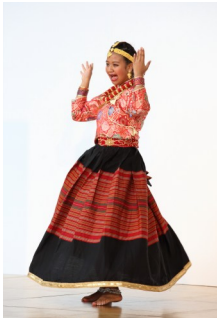
■出展：31団体・個人 ／アメリカ、中国、ロシア、韓国、イギリス、ニュージーランド、ドイツ、メキシコ、ウィジャヤクスマ（インドネシア）、モンゴル、秋ネパ友好協会（ネパール）、タジキスタン、Africans in Akita Association（タンザニア、ボツワナ、ガーナ）、カンボジア、バニヤンツリー（バングラデシュ）、バハィクーボ（フィリピン）、ナータヤシン（タイ）、技能実習生（ベトナム／医療法人杏仁会ショートステイ杏）、青年海外協力隊秋田県ＯＢ会、秋田県人権擁護委員協議会、チャリティ・アキタ、世界の友達作ろうプロジェクト@能代、秋田ユネスコ協会、日本国際連合協会秋田県本部、秋田ボーダレススピーカーズ、ヒッポファミリークラブ、秋田県日中友好協会・女性委員会、大仙市国際交流協会、仙台出入国在留管理局、秋田ゾンタクラブ、JICA東北　※順不同

4. ワークショップ

小学生向けワークショップ「ネパールの国花シャクナゲをつくろう！」を午前・午後合わせて計７回実施し、児童34名が参加した。ネパール出身のAIAコミュニティサポーターら２名を講師に、一緒に工作をしながらネパールの言葉や文化についても学んでもらった。

5. ステージパフォーマンス

伝統舞踊やダンス、民族楽器の演奏など国際色豊かな演目がステージを彩り、観覧者も手拍子したりステージに上がるなどして共に会場を盛り上げた。外国人県民が秋田の伝統文化に親しめるよう、由利高校民謡部により秋田の民謡やお囃子、手踊りも披露された。恒例となったフィナーレのインドネシア伝統舞踊では会場が一体となって踊り、盛会のうちに閉幕した。



■演　目：スコットランドのバグパイプ演奏／ネパールの民族踊りと民族衣装の紹介／秋田の民謡／アフリカのダンス／
タイの伝統舞踊／コロンビアのリズム／フィリピンの昔話／インドネシア伝統舞踊　※出演順
■その他：ブース出展者インタビュー

6. JICA

JICAブースでは海外協力隊発足60周年のPRのほか、ボランティア事業の取り組みについて紹介、ステージでの事業紹介やクイズを通して県民と交流し、効果的な広報啓発を行う機会となった。また、青年海外協力隊秋田県OB会と協働してJICA海外協力隊の募集ポスター掲示やパンフレットの配架などを行ったほか、OBによる隊員経験の紹介などが行われた。

7. AIA

外国人相談センターやAIAコミュニティサポーター制度、「にほんごでおはなし」などの事業のほか、第二・第四木曜日に協会内で開催しているインターナショナルディ（国際交流員などとの交流サロン）などの紹介を行った。

8. パネル展示（多文化共生・日本語教育）

秋田県における在住外国人の状況や在住外国人が日本で暮らすうえでの４つの壁（ことばの壁、心の壁、文化の壁、制度の壁）、「やさしい日本語」の使用や災害時のサポートの必要性など、多文化共生について理解を深めてもらうためのパネルや、日本語教育の取り組みに関するパネルの展示を行った。